

2019年1月24日  
J R A 報道室

## お 知 ら せ

### 2018年世界のトップ100G I競走の発表について

I F H A (国際競馬統括機関連盟) は、昨日 2018年世界のトップ100G I競走を発表しました。

今回は 11ヶ国 36競馬場のG I競走がリストに名を連ね、1位は過去4年で3回目となるフランスの凱旋門賞(125.00)、2位はオーストラリアのクイーンエリザベスステークス(123.75)、3位はイギリスのプリンスオブウェールズステークス(123.25)となっています。

( ) 内の数値は年間レースレーティング

日本の競走では、ジャパンカップの7位を筆頭に、以下のとおり、合計10競走が100位以内にランクインしており、ランクインした競走数では、オーストラリア(31競走)、イギリス(19競走)、アメリカ(14競走)、香港(11競走)に続き、世界5位となります。

昨年に引き続き天皇賞(春)は、2,700メートル超のExtendedカテゴリーで、世界ナンバー1(今回はイギリスのゴールドカップとタイ)に位置づけられています。

#### 【100位以内にランクインした日本の競走】

順位	レース名(年間レースレーティング)
7位	ジャパンカップ(122.50)
17位	天皇賞(秋)、有馬記念(120.75)
47位	大阪杯(118.25)
52位	天皇賞(春)(118.00)
62位	安田記念(117.50)
67位	東京優駿(日本ダービー)、菊花賞、マイルチャンピオンシップ(117.25)
76位	宝塚記念(117.00)

全競走リストは以下のリンク先(英語)で確認できます。

<https://www.ifhaonline.org/resources/WTGradedRanking/LWGRank.asp?batch=2>

## 【世界のトップ 100 G I 競走】

2018 年の年間レースレーティングの上位 100 競走（2 歳を除く）をランキングしたもの。

年間レースレーティングは、当該競走における上位 4 着までの馬の公式レーティング（注記）の平均値をいいます。競走の質を表すこの数値は、格付け審査等に用いられます。なお、牝馬限定競走以外のレースで、上位 4 着までに牝馬が入着した場合には、当該馬に牝馬アローワンス（一律 4 ポンド）を加算して算出します。

注記：当該馬がその年度に得た最高レーティングを指します。115ポンド以上の馬については I F H A （国際競馬統括機関連盟）の専門部会である W B R R C （ワールドベストレースホースランキング委員会）の協議により決定されます。また、114ポンド以下の馬については、その結果を受け各国のハンデキャッパー等により決定されます。